

報 道 資 料

平成22年11月12日

地域福祉課	吉岡	内線2812
長寿社会課	藤井	内線2851

奈良介護大賞の決定について

奈良介護大賞、あたたか介護賞が次のとおり決まりました。この表彰は、「介護の日（11月11日）」にちなみ、現在、家庭や施設などで介護をしている人たちを力づけるとともに、介護を支えるコミュニティの力を向上させ、地域における支え合いのネットワークづくりにつながる介護の取り組みを顕彰し、県民の皆様に紹介するものです。

応募の状況

- ◆応募数 ○家族・地域介護部門 11（団体8、個人3）
 ○介護サービス従事者部門 12（団体10、個人2）
- ◆今年の特徴 「家族・地域介護部門」では、高齢化、過疎化に対応した地域住民の自発的な活動が、「介護サービス従事者部門」では、介護事業所等で地域のネットワークを作る活動や、介護サービス利用者とともに地域住民を対象とした活動などの応募がありました。

選考の基準

- ◆家族を介護している人や介護にかかわる団体のネットワークづくり、介護サービスの利用者、介護者、支援者のネットワークづくり、独自の介護や介護技術の工夫などの観点から選考しました。

受賞者

- ◆奈良介護大賞
 - 《家族・地域介護部門》 大塔福祉ふれあいの会 （団体）
 - 《介護サービス従事者部門》 医療法人厚生会 在宅事業部 （団体）
 - 【活動内容は別紙参照】

- ◆あたたか介護賞
 - 《家族・地域介護部門》
 - 城ヶ丘・福祉支援の会 （団体）
 - 伏見南（ひばり）介護フォーラム （団体）
 - 友愛おべんとうグループ （団体）
 - 《介護サービス従事者部門》
 - デイサービス発志院 あいあいの郷 （団体）
 - 奈良市西部エリアネットワーク会 （団体）
 - ヒューマンヘリテージ株式会社 （団体）

- ◆表彰 「なら 介護の日 2010」（11月13日）【詳細は別紙】において、表彰します。

大塔福祉ふれあいの会

○ 高齢の親を世話する仲間4人が昭和62年から63年にかけて、県女性センター等でホームヘルパー講座を受講。奈良市まで毎回、往復に6時間をかけて講習を受け、ヘルパーの資格を取得。この知識と技能を人々に伝え、高齢化・過疎化が進む地域を支える仲間を増やそうと旧大塔村で平成元年に「大塔村福祉ふれあいの会」を立ち上げ。村の事業や県女性センターの講師派遣を活用するなどして平成16年には村内のヘルパー有資格者は70名を超えるまでになった。



(会員によるお弁当づくり)

○ 高齢者が村で住み続けられるためには食の確保が大事と、平成6年から配食を開始。現在は、夏期を除く月1回の配食を行い、年9回は希望者約30人へ、年1回、4月には75歳以上の全員、約130人へお弁当を届ける。

○ 平成9年、大塔村社会福祉協議会の設立と同時に毎週、火・木曜日に行われるデイサービスにボランティアとして参画し、社協の事業を支える。そのほか、健康診断受診のお知らせや受診会場への同行、健康診断の手伝いを行う。

○ 近所の高齢者宅に夜、電気がつかないなど変わったことがあれば様子を見に行く、お弁当を届けた際に帰宅が遅いので畑へ迎えに行ったなどの見守りも会員が自然に行っている。

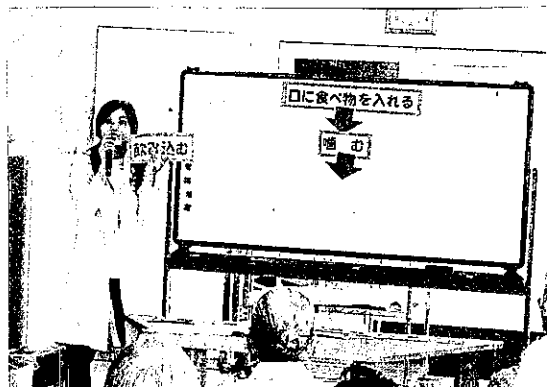
○ 大塔村の住民の約5分の1、117人が会員。高齢者が希望する限り、大塔に住み続けられることを目指して、活動が続けている。

奈良介護大賞《介護サービス従事者部門》

医療法人厚生会 在宅事業部

○ 地域の中で人が集まる場を提供しようと、介護保険の制度外で、平成19年から月1回、デイサービス利用者に限らず、地域の誰でも参加できる「生き生き教室」を実施。「よく噛んで食べることの大切さ」「指のパワーで老化予防」など、健康、介護予防、栄養をテーマに開催した。

○ また、不定期に、自治会館等で「生き生き祭り」を開催。健康・介護予防の講演会や、移動足湯、認知症の方の視覚を体験できる体験コーナー、ゲームを通して介護予防を体験するコーナーなど、地域の誰でも参加できるイベントを開催。



（第1回生き生き教室）

○ 現在は、斑鳩町と共同で「生き生き倶楽部」を毎週火曜日に実施。認知症予防に公文学習療法を取り入れたり、医療、運動、栄養などをテーマに「大人の学校」をイメージした活動を行っている。

○ 家にとじこもりがちな高齢者を地域での活動に誘導し、人々が交流する「元気な生き生きした地域づくり」を目指している

あたたか介護賞 受賞団体

あたたか介護賞 (家族・地域介護部門)

受賞者	活動
城ヶ丘・福祉支援の会	「困ったときはお互い様」の気持ちで、軽度生活援助事業やサロン活動として「お困りごとへの応援隊」、「中高年者の元気な街づくり・ふれあい喫茶室」などを行っておられる
伏見南（ひばり）介護フォーラム	住民自ら介護予防活動の重要性を認識し、老人会、女性有志の会とのネットワークをつくり、おしゃべりサロンの開催、小学校・デイサービスなどでの活動や、愛の声かけ運動を続けておられる
友愛おべんとうグループ	昭和48年に施設へのボランティアからはじまり、在宅ボランティアへの需要が高まったことから平成4年にお弁当の配食を始め、毎週1回、高齢者にお弁当を届ける際には話相手をするなどの友愛活動を続けてこられた

あたたか介護賞 (介護サービス従事者部門)

受賞者	活動
デイサービス発志院 あいあいの郷	デイサービス利用者への無料歯科検診や月1回のフットケアを行い、生活の質を高めるほか、サマーフェスタを実施してこどもと高齢者のふれあいの場を作っておられる
奈良市西部エリアネットワーク会	平成19年から、富雄・登美ヶ丘・二名（にみょう）の三つの地域包括支援センターが協力して、介護支援専門員や事業所のネットワークを作り、介護・福祉職の質の向上をめざして、民生委員や警察との交流会、講師を招いての研修会などの活動しておられる
ヒューマンヘリテージ株式会社	介護タクシーを利用した、旅行・観光サービス事業や、高齢者向けの「送迎付き」「介護サポート付き」カルチャーセンターを開設するなど、高齢化が進む中で、介護保険ではカバーされない新たな取り組みを実践されている

「介護の日」啓発イベント
なら 介護の日 2010

「介護の日」（11月11日、いい日、いい日）は、現在介護している人を力づけるとともに、介護家族を支えるコミュニティの力を向上させ、介護家族、専門職や市民ボランティア、企業、行政などによる幅広い支え合いの必要性について、県民挙げて考える日です。

その機会として、今年度もNPO、専門職団体等と奈良県が実行委員会を構成し、協働で啓発イベント「なら 介護の日 2010」を以下のとおり開催します。

- 1 開催日時 平成22年11月13日（土） 午前10時30分～午後4時
- 2 場 所 橿原市大久保町 奈良県社会福祉総合センター
- 3 内 容
 - （1）奈良介護大賞表彰
 - ・奈良介護大賞 2団体、あたたか介護賞 6団体を表彰します。
 - ・奈良介護大賞受賞者の取り組み内容を紹介します。
 - （2）記念講演会
「ほっとけ心でアッパレ介護」
講師 田辺鶴瑛氏（講師）
 - （3）親守唄・歌会
 - ・自分を育ててくれた親に贈る詩ならびに曲を発表します。
 - （4）展示コーナー・相談コーナー
 - 介護・介護の仕事に関する無料相談
 - 介護労働相談
 - 法律相談
 - リハビリテーション相談
 - 福祉用具の展示
 - 高齢者向け食事のレシピの紹介

※当日参加できます。皆様のご参加をお待ちしています。